

能力開発センター第36期訓練生の募集がスタートします

今年も次年度の訓練生の募集が始まります。

1. 今住んでいる住所の管轄ハローワークで相談
2. 体験入校
3. 願書提出
4. 入校面接
5. 合格発表

問い合わせ 能力開発センター
担当：徳重・高橋
TEL: 0798-41-8301
FAX: 0798-41-8303
※見学も随時受け付けています

阪神友愛食品の人の動き・・・

- 2021年1月16日付 定時社員2名採用
- 2021年2月16日付 定時社員1名採用
- 2021年4月1日付 3名を配置

- ・紙リサイクルチーム1名
- ・農産物袋詰めチーム2名

2021年4月1日付

- ・正社員2名で派遣チーム稼働開始

2021年5月16日付

- ・15年目と6年目の定時社員2名を正社員に登用

能力開発センター 販売実習

6月3日(木)、園芸実習で育てていた農産物を収穫し、販売実習をしました。

2回に分けて販売し、完売しました♪

玉ねぎ	700g
	100円
にんじん	約100g×2
	100円



<ゆうあいサポートの動き>

ゆうあいサポートは、当社の姉妹会社で就労継続支援A型事業所です。コープのお店に集まったペットボトルをプレスし、業者に引き渡す事業が主力事業です。昨年、新たに鳴尾浜配送センター農産センターで、農産物を運ぶコンテナを整理する作業の受託をスタートしました。

この作業が増えてきたことから、6月から、これまで作業していなかった毎週水曜日にも作業をさせていただくことになりました。安全に充分注意しながら、テキパキと仕分け整理をしています。



<株主総会のご報告>

6月24日(木)に当社の株主総会が開催され、第35期の決算と第36期の計画が承認されました。また、取締役の任期満了による交代がありました。新役員体制についてはホームページをご確認ください。

編集後記 今年も暑い夏がやってきました。当社の事業は何かと身体を動かすことが多いので、ふんばりどきです。本日は新しい社員を迎えたときや普段の頑張りにねぎらう場を、と思うのですが、それも叶わないのはちょっと寂しいなと思います。日ごろの小さなつながりやコミュニケーションを大切にしていきたい、と改めて心に留めている毎日です。(A)

当社の見学も受け付けています!

YUAI 阪神友愛食品株式会社

〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜3丁目10-1 (コープこうべ鳴尾浜配送センター3階)

TEL 0798-41-8301 / FAX 0798-41-8303

●ホームページ <http://www.hanshin-yuai.co.jp/>

◎インスタグラム
◎フェイスブック

『阪神友愛食品』で検索

HP & facebook
& Instagram



阪神友愛食品

検索

阪神友愛通信

35



Departure ~新たなる船出

デパーチャー

第4号

2021年7月10日
阪神友愛食品株式会社

発行人

代表取締役社長

河崎 紀子

労働者派遣事業がスタートしました!

昨年12月1日、厚生労働省から労働者派遣業の認可を受けました。その後、社員への説明・派遣先との契約などの準備を行い、今年4月1日から派遣事業がスタートしました。すぐ近くにあるコープこうべの子会社(株)協同食品センター様に聴覚障害のある社員2名が行って、農産加工場でにんじんの袋詰めやりんごのシール貼り、らっきょうなど季節の農産物の量りと袋詰めなどの作業をしています。

障がい者の派遣はあまり例がなく、当社にとっても新しい業務領域を開拓するチャレンジです。今後、障がい者の雇用をもっともっと増やしていくためには、業務領域を広げ、相手先の会社で“人手が足りない”“単純作業で誰かに任せたい”などの課題解決のお手伝いを派遣の形ですることが、方法の1つと考えました。協同食品センター様にご相談したところ、受け入れを快諾いただき、4月のスタートになりました。

2名の社員は正社員です。毎日帰社後に「派遣業務日報」に作業内容や感想、気付いたこと・困ったことなどを記入しています。総務・生活支援課では、日報に目を通すとともに、先方でのコミュニケーションに問題はないかヒアリングするなどしてサポートしています。

まず協同食品センター様での業務を軌道に乗せ、「阪神友愛の障がい者ならば、他にも色々頼めるかも」「障がい者と働くことが、みんな当たり前になってきた」と思ってもらえるようにしたい。今後、近隣の企業様にもご案内するなどして、さらに広がっていきたく考えています。



阪神友愛の今の事業

紙リサイクル業務

農産物袋詰め業務

販促物封入業務

酒類センターピッキング業務

派遣業務

請負契約

NEW!
派遣契約

派遣チーム主任 木村 圭作さん

4月から派遣の仕事で協同食品センターへ行っています。仕事の内容はこれまでの仕事に近かったのですが、友愛と比べてスピードが早く職場の人数も多かったため緊張しました。慣れるのに苦労しましたが頑張っています。



能力開発センター 第35期の訓練がスタート

兵庫県から受託している「知的障害者能力開発センター」では4月7日(水)に入所式を行い、第35期生の訓練がスタートしました。前年度はコロナ禍で1カ月半以上遅れてのスタートでしたが、今期は何とか無事開始することができました。緊急事態宣言の発出を受け、リモート訓練も交えながら、新しい訓練・就職活動の形にチャレンジしています。

4/7(水) 入所式を開催

4月7日に第35期の訓練生が入所しました。式では、訓練生を代表して高松歩里さんが決意表明をしました。

「誓いの言葉」

私が小学校五年生から通っている塾の先生がある時私に言いました。「税金を受ける側ではなく払う側になろう。」母に聞きました。「すごくいい事だ。」と言いました。私の目標になりました。

入所をしたら、一年後にちゃんと働けるように敬語を使って話ができるようになります。そして、基本の事ですぐ挨拶を欠かさずする。相手が挨拶をしてくなくても私は気にせず続けたいです。また、指導員の話もちゃんと聞いて職業訓練を頑張りたいです。それには、わからないことがあってもほおっておかず、小さなことでも自分から聞けるようになる。これが大事だと思っています。体調も崩さないようにランニングも続けたいと思っています。目標のために頑張ります。



はじめての朝礼担当

～カンペ見ながら・・・



早速リモート訓練も

5月7日、訓練生は全員パソコンを持って帰り、在宅で午前9時から午後3時半までズームでつなぎ、リモート訓練を行いました。慣れるためにも定期的に行っています。



鳴尾浜配送センターでの実習

(5/10～5/27)

ここ鳴尾浜配送センターで店舗配送の業務を行っている(株)コープムービング様や(株)兵庫トランスポート様のご協力をいただき、3班に分かれて実習を行いました。商品の出荷準備の作業などをしました。



6/4(金) 就職に向けた学習会開催

ハローワーク西宮・専門援助部門の森統括をお迎えし、訓練生15人と保護者15人が参加して学習会を行いました。

森統括からは「コロナで就職が厳しいこの時期に、本人・保護者・支援機関が連携して、就労を目指しましょう」とお話がありました。

能力開発センター 訓練生の1日

訓練は、主に座学による「普通学科(総合学習や基礎算数など)」「専門学科(生活基礎や食品栄養基礎など)」と、主に実習による「基本実技(清掃実習や情報機器実習など)」「応用実技(社内や外部の企業などでの実習)」に分かれています。就職に向けて、基礎から応用へと徐々にステップアップしていきます。

08:40 タイムカード打刻：教室に集合

08:50～9:35 朝礼～清掃作業 (1限目)

09:35～10:20 作業実習(2限目)

10:25～11:10 作業実習(3限目)

11:15～12:00 作業実習(4限目)

12:00～13:00 お昼休憩

13:00～13:45 座学 (5限目)

13:50～14:35 座学 (6限目)

14:40～15:25 座学 (7限目)

15:25～16:10 終礼 (8限目)
終礼での個別面談



●あいさつ・発声・なわとび・ランニングなど日替わりメニュー



農産物袋詰め事業での計量作業など

◆生活基礎の学習です



●実習前の身だしなみチェック
●紙リサイクル事業で社員に交じっての作業



●スポットのしいたけ軸切りの作業



●セルフマネジメントについて学びました



●1日の振り返りを1分間のスピーチで発表します。翌日の予定の確認、持ち物の確認などをして、終了。お疲れ様でした！



●終礼では訓練生が話したいこと、指導員が伝えたいことを個別に話す時間を設けています



こんな環境で座学を受けます



1年間の目標を貼りだします



ミニ農園と屋上では、園芸塾も開かれ、生産した農産物を販売したりします

